

科目区分	基礎科目	科目名	経済学		科目コード	10205	担当者	吉田高文	
対象学生	全学2年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択必修	
							免許・資格要件	秘書士必修、介護福祉士選択必修 社会福祉主事任用資格指定科目	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
ミクロ経済学およびマクロ経済学で最低限必要となる理論や考え方を学習する。							定期試験 (90%) 受講態度 (5%) 提出物 (5%) ※期末試験は自筆ノート及び配布物の持ち込みを認める。(コピー不可。)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	基礎的な経済用語を理解する。						○		
2.	ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを理解する。						○		
3.	新聞やTVニュースの経済的話題に関心を持つ。						○		
4.	政治と経済のつながりを理解する。							○	
5.	経済の知識を日常の消費生活に活かす。				○				
授業方法									
テキストは使用せず教員が用意した配布物 (プリント) を使いながら学習する。受講者は教員の説明を聞き、プリントに書き込んで学習を進める。									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
とくに準備の必要ない。日ごろから経済的話題に関心をもつこと。毎日30分程度新聞を読むと良い。復習は、授業やプリントで出てきた経済用語を中心に自分で調べて学習すること。質問は随時メールなどで受け付ける。教員のメールアドレスは授業中に知らせる。									
授業計画									
第1回	経済学の基礎知識								
第2回	円高・円安と日本経済								
第3回	GDP (国内総生産)								
第4回	GDPの決定								
第5回	経済学派と経済政策								
第6回	消費関数と消費者行動								
第7回	企業の投資と政府の公共事業								
第8回	貨幣市場の均衡								
第9回	景気循環								
第10回	企業の利潤最大化								
第11回	企業の経営戦略								
第12回	ゲーム理論								
第13回	不確実性の経済学								
第14回	外部性								
第15回	公共財								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
教科書は使用しない。参考書は西村和雄『まんがDE入門経済学第2版』日本評論社、1999年、1300円 (税別)、在庫僅少。					「経済」は世の中で実際に起きていることなのに、なぜ「経済学」は難しいのだろう、という声を聞くことがあります。はじめのうちはあまり細かいことにはこだわらず、ぼんやりとした理解でかまいません。毎回の講義で一つや二つ、「へえ」とか「なるほど」と思えるような内容を見つけてください。				